

# Hello

2001

5

No.220

# friends

KANAGAWA  
INTERNATIONAL  
ASSOCIATION  
NEWSLETTER

(財)神奈川県国際交流協会 〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1 神奈川県立地球市民かながわプラザ1階 045-896-2626

## 2001年度の神奈川県国際交流協会(KIA)

2001年4月～2002年3月

2001年は、神奈川県が提唱する「希望の年」です。また、国連「ボランティア国際年」です。

この年に当たり、神奈川県国際交流協会は、「NGOとのパートナーシップ」、「地球市民が創造する21世紀のボランティア文化」、「インターネット環境の整備」をテーマとして、地球市民学習に関する事業を新たに加え事業の展開を図ります。5月の「あーすフェスタかながわ2001」や9月の「第10回全国ボランティアフェスティバル」など、地球市民かながわプラザ(愛称:あーす)を会場とした大きなイベントも予定されています。

「Hello Friends」紙上で各事業の詳しい内容をお知らせしていきます。ご参加をお待ちしています。

### 桜の咲くころ

#### 英会話講座・春期開講

国際交流・協力に使える英会話を学びます。神奈川と友好提携を結ぶ米国・メリーランド州から「第二言語としての英語(ESOL)」の専門講師が担当します。

#### 日本語講座・春期開講

#### かながわ民際協力基金・春期申請受付

国際協力を行うNGOを支援します。「助成申請ガイド」も開催。(4月～5月末申請受付)

#### ことばと文化セミナー・前期開講

アジアや中南米などの学ぶ機会の少ないことばと、その文化を学びます。前期は、ベトナムのことばと文化の講座を開催します。(詳しくは3頁)

### 若葉の茂るころ

#### 「あーすフェスタかながわ2001」の開催(5月11日～13日)

「多文化共生」をテーマに、シンポジウムや民族芸能ステージ、ワールドバザールなどを開催します。(詳しくは4頁)

#### 地域国際化協働プロジェクトの募集

地域の国際化に関わるプロジェクトの企画を公募し、協会と協働して実施します。(詳しくは2頁)

#### NGO活動研修派遣事業の募集

県内NGOのスタッフをNGOマネジメント先進地域である欧米に派遣し研修を行います。(派遣期間は10月～12月)

### ひまわりの咲くころ

#### 国際交流・協力ポスター作文コンテスト

作品応募は9月上旬が締め切りです。12月中旬に表彰式と作品展示会を開催します。

#### 「第10回全国ボランティアフェスティバルかながわ」の開催

(9月22日～23日)

23日は、サブ会場となるあーすで「国際交流・国際協力」をテーマにコンサートやシンポジウムを開催します。

### もみじが赤らむころ

#### ピースメッセンジャーかながわ派遣事業

NGO、NPO先進地域であるメリーランド州及びワシントンDC等を訪ねます。

#### 英会話講座・秋期開講

#### 日本語講座・秋期開講

#### ことばと文化セミナー・後期開講

かながわ民際協力基金・秋期申請受付(10月～11月末)

#### センター・デー(神奈川県国際研修センター)

海外技術研修員や留学生との交流の一日です。楽しい企画が待っています。

#### 神奈川県国際交流協会・会員のつどい

### 梅の花が咲くころ

#### 地球市民フォーラムの開催

「21世紀のボランティア」をテーマにシンポジウムを開催します。

### 季節を越えて

#### 地球市民学習リーダーセミナーの開催

「地球市民学習」の実践に必要な情報と具体的なノウハウを提供するセミナーを開催します。

#### 地球市民講座の開催

地球環境、開発、メディアなどをテーマに専門家を招いて連続講座を開催します。

#### 地球市民学習教材の開発

『貿易ゲーム』の改訂版を制作します。

#### インターネット事業

HPの充実に加え、NGO、関係機関との情報共有と市民活動との連携を促進するためメールマガジンを発行します。(詳しくは2頁)

#### NGOかながわ国際協力会議(事務局)

NGOによる県国際政策についての提言作成のための定期的な会議です。協会は県と共にこの会議の事務局をつとめています。

#### 県内国際交流協会連絡協議会の開催

#### 神奈川県通訳バンクの運営

#### 情報提供・相談事業

この4月に改装した、あーす2階の情報フォーラムと映像ライブラリーを運営します。(詳しくは4頁)

また、情報提供のため「Hello Friends」「サラダボウル」ともに隔月、「地球の風」「国連かながわ」ともに年1回などの情報紙を発行します。NGO活動、国際理解教育に関することなどいつでもお気軽にご相談ください。

#### 神奈川県国際研修センターの運営

神奈川県が発展途上国から受け入れる技術研修員の宿泊・研修施設(横浜市旭区)を運営します。各種研修、地域との交流事業などを実施します。私費留学生の長期宿泊施設でもあります。

#### 神奈川県国際学生会館の運営

私費留学生の長期宿泊施設(横浜市旭区、相模原市)を運営します。また、地域との交流事業などを実施します。

皆様のご参加を心からお待ちしています。

## 地域の国際化を進める “協働事業”の企画提案を募集!

神奈川県国際交流協会では、2001年度からの新たな試みとして、地域の国際化の推進などを目的としたプロジェクトの企画を、県内のNGO、市民・学生グループ等の皆さんから広く募集します。

国際交流協会では、応募された企画の中から1~2件を選び、企画提案団体と協働でプロジェクトを進めていきたいと考えています。プロジェクトの形態は、イベントに限らず、調査研究活動、出版、スタディ・ツアー、キャンペーン等でも構いません。プロジェクトの実施にあたっては、国際交流協会もその経費の一部を負担します。

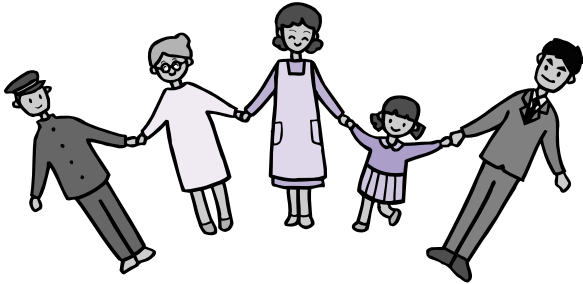
NGOや地域の活動グループと国際交流協会とが、互いに情報、ノウハウ、知恵を出し合いながらプロジェクトを進めていくことによって、より大きな成果が生まれるのではないのでしょうか。また、その過程で、それぞれに新たな学びを得て、それが組織の力になっていけば、一石二鳥です。

企画提案は5月末日まで受け付けていますので、ぜひ、ユニークなアイデアをお寄せください。応募方法等、詳しくは、民際協力課までお問い合わせください。

TEL : 045 - 896 - 2626 E-mail: minsai@k-i-a.or.jp

### プロジェクトの主な条件

「地域の国際化の推進」「地球市民学習」「民際協力活動の担い手の育成」等をテーマとし、主に神奈川県内で活動するNGO、市民グループ、学生サークル等が企画、実施するプロジェクトで、2002年2月頃までに終了し、3月末日までに会計報告が可能なもの。但し、「かながわ民際協力基金」の助成対象事業を除く。



## 「かながわ市民活動情報メールマガジン」を発刊します!!

神奈川県国際交流協会では、県内の市民活動支援機関との共同事業として、国際交流、教育、福祉、まちづくりなど、多様な分野で活動する神奈川のボランティア団体・NGOの最新の動きを伝えるメールマガジンを発刊します。

イベント情報を発信したいと考えているNGOスタッフの方々、ボランティア活動を始めるとあたり、様々な分野の市民活動情報を知りたいと思っているの方々、NGOでインターンをしてみたいと思っている学生の皆さん、そんなアナタにピッタリの電子メール情報誌が、「かながわ市民活動情報メールマガジン」です。これから月2回のペースで、県内の市民活動の動きを、広く深くお伝えしてゆきます。どうぞご期待ください!

### ❓ 情報の内容は?

ボランティア団体、NGO等が主催するイベント情報、ボランティア・インターン募集情報  
ボランティア団体、NGO活動の新しい動き  
企業の社会貢献情報(バザー用品の提供等)

### ❓ 購読料は?、購読の方法は?

購読料は無料。購読の手続きは、神奈川県国際交流協会のホームページ(<http://www.k-i-a.or.jp>)から行います。ホームページへのアクセスが難しい方は、[magazine2@k-i-a.or.jp](mailto:magazine2@k-i-a.or.jp)までメールをお送りいただければ、こちらで購読手続きを代行します。

### ❓ 誰が編集・発行するの?

編集は、(財)神奈川県国際交流協会が担当。発行主体は、(社)神奈川県青少年協会、(社)神奈川県ボランティアセンター、(財)川崎ボランティアセンター、(財)神奈川県国際交流協会の4者で構成する発行委員会。

### ❓ 主な配信先は?

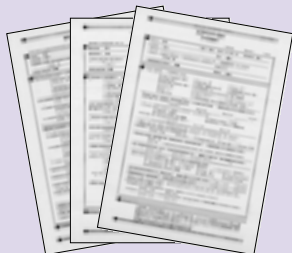
個人、ボランティア団体、NGO、市民活動支援機関、国際交流協会、教育機関、自治体、マスメディアなど

### ❓ 情報を掲載したい場合はどうするの?

[magazine@k-i-a.or.jp](mailto:magazine@k-i-a.or.jp)宛てに情報をお寄せください。ただし、個人からの情報の掲載依頼はお受けできません。詳しくは、企画情報課までお電話を! TEL: 045-896-2626

## 11言語「多言語問診票」を活用してください!! 10科目 <http://www.k-i-a.or.jp/medical/>

Apakah masalah anda? どうされましたか
Kalian pa'ho nagsimula? いつごろからですか
Histórico clínico do paciente? 今までにかかった病気はありますか
현재 복용중인 약이 있습니까? 現在毎日飲んでいる薬はありますか
¿Le han sacado algún diente? 歯を抜いたことがありますか
Операции в прошлом? 手術を受けたことがありますか
Has he/she ever been hospitalized? 入院をしたことがありますか

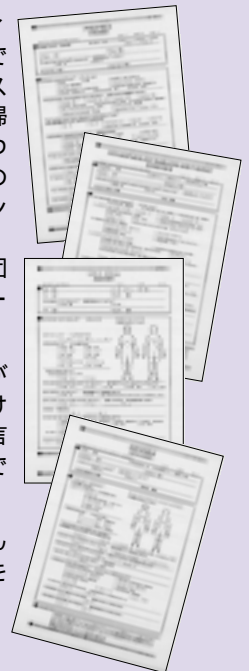


協会では、ボランティア・グループ「ハーティ港南台」と協力し、「ハーティ港南台」が作成した「多言語問診票」を、インターネットを通じて手軽に手にできるように、ホームページに掲載しました。これは、外国人住民が初診時に、スムーズな診察が受けられることを目的としたもので、内科、外科、小児科、産婦人科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、眼科、歯科、耳鼻咽喉科の10科目について、医療関係者のアドバイスを受けながら作成した基本的な質問が11カ国の言語に翻訳されています。現在用意できている言語は、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、タイ語、ラオス語、インドネシア語、ベルシャ語、中国(北京)語、韓国語、ロシア語、英語の11カ国語。多言語での相談をおこなっている団体や、医療に関する多言語情報を発信している団体、グループなどのホームページの紹介も併せて掲載しています。

もちろん、現時点での最善をつくして作成しましたが、まだまだ改善の余地があると思います。お気づきの点や、新しい情報・アイデアなど、お寄せいただければ幸いです。なお、近々、ベトナム語の問診票もできあがる予定です。他の言語についても、ワープロでの翻訳が可能な方がいらっしゃいましたら、下記までご連絡ください。

いま生まれたばかりのこのサイトは、「完成品」ではなく、そうしたみなさんの協力を得て、これから育っていくものだと考えています。みなさんのご協力をお願いします。

企画情報課 [kikaku@k-i-a.or.jp](mailto:kikaku@k-i-a.or.jp)



# ことばと文化セミナー

最近注目を集めている「ベトナム」についての理解を深める機会として、語学及び文化講座を開催いたします。みなさまのご参加をお待ちしております。

## ベトナム語入門講座

期 間：5月18日～8月10日、毎週金曜日、計12回  
 時 間：18時30分～20時00分（90分）  
 場 所：あーぢ 35 2階・研修室  
 講 師：ダン・タン・ファットさん  
 （かながわベトナム親善協会）  
 受講料：26,250円（教材費・消費税込み）  
 協会年会費3,000円（会員の方は不要）  
 資格・定員：ベトナム語で簡単な会話ができる方  
 （初めて習う方も可）、15名（継続受講者を含みます）

主催：（財）神奈川県国際交流協会

共催：県立地球市民かながわプラザ

神奈川県インドシナ難民定住援助協会  
 かながわベトナム親善協会

問合せ・申込み（ベトナム語講座、文化講座とも）

電話（045-896-2626）FAX（045-896-2945）

E-mail（kikaku@k-i-a.or.jp）のいずれかでベトナム講座係へ。

先着申込順で定員になり次第締切りとなります。

あーぢ 35 は、JR根岸線本郷台駅より徒歩3分の場所にあります。

## ベトナム文化講座

### 第1回「在住ベトナム難民の～国籍と人権、『無国籍』とは？～」

日 時：6月9日（土）13:15～16:30

場 所：あーぢ 35 2階・情報フォーラム

パネリスト：ダン・タン・ファットさん、レー・ヒエンさん、

チュン・ティ・トウイ・チャンさん（かながわベトナム親善協会）

コーディネーター：桜井ひろ子さん（神奈川県インドシナ難民定住援助協会会長）

内 容：在住ベトナム人の方々の日常生活における課題について国籍と人権の観点から考えます。

参加費：500円（ベトナムのお菓子付）

定 員：30名

### 第2回「1日ベトナム体験～きっとベトナムに行きたくなる！～」

日 時：6月23日（土）10:30～15:00

場 所：あーぢ 35 1階・ワークショップルーム

内 容：ベトナムの生活・文化・簡単な会話・遊びなどについてビデオや音楽などを使いながら楽しく学びます。

講 師：チュン・ティ・トウイ・チャンさん（かながわベトナム親善協会）

参加費：1,200円（ベトナム風ランチ付）

定 員：25名

### 第3、4回「エスニックキッチン・ベトナム～ダオさんの家庭料理～」

日 時：6月30日（土）、7月7日（土）10:00～15:00

場 所：あーぢ 35 1階・料理室

内 容：揚げ春巻、ビーフン、トマトときゅうりの和え物、シロップかけ豆腐

講 師：ゲン・ティ・ダオさん

（ベトナム料理のケータリングサービスをしています）

参加費：2,000円

定 員：16名（第3、4回とも16名で同じメニューです）

## かながわ 国際協力基金

## 日韓・東アジアの授業と教育を交流する会などへ助成

かながわ国際協力基金から、2000年度下半期分として、次の4つの事業に対する助成が決まりました。

### 第7回日韓合同授業研究会～

#### 日韓・東アジアの授業と教育を交流する会

団 体 日韓合同授業研究会（代表：吉峯啓晴さん）

区 分 担い手育成事業

助成額 1,000,000円

東アジアの教育の交流と相互理解をはかるために、韓国を中心とした東アジアの教員・市民・学生を招いて、各国で実際に行なわれている授業について、2001年7月に神奈川県三浦市にて教育交流会を行ないます。また、日本理解のためのフィールドワークも行なう予定です。

### 在日フィリピン人を対象とした自助グループづくり支援と帰国後の母国社会への再統合をスムーズに行なうためのリ・インテグレーション・プログラムの実施

団 体 横浜教区滞日外国人と連帯する会（代表：渡邊裕成さん）

区 分 国内協力事業

助成額 450,000円

日本に在住するフィリピン人の自助グループづくりを支援し、移住労働の経験を分かち合いながら共同貯蓄を行ない、グループで共同のプロジェクトを進めていくことによって、移住労働に頼らなくてもよい環境を整備することを目的とするプロジェクトです。

### PTA主体の地域住民参加によるブサイ小学校の口腔衛生支援プロジェクト

団 体 オーラル・ハイジニスト神奈川（代表：佐々木初子さん）

区 分 海外協力事業

助成額 1,900,000円

国際協力基金の助成を受けて、2000年7月からフィリピン・セブ島へ歯科衛生士1名を長期派遣。現地小学校のPTA歯科保健チーム、教員、歯科医師会など現地の人々の積極的な参加を促し、口腔衛生の向上を目指しています。今回が2回目の助成です。

### 在日ラテン・アメリカ系住民のHIV感染者・AIDS患者支援及びHIV抗体検査前後のカウンセリングと電話相談事業

団 体 CRIATIVOS（クリアチーフス）（代表：岩木章子さん）

区 分 国内協力事業

助成額 1,350,000円

国際協力基金の助成を受けて、医療関係の専門知識を持つ中南米諸国出身のスタッフが中心となって、エイズの予防に関する啓発活動や、感染者同士による自助グループへの支援などを行なっています。1999年度には、エイズの正しい理解と普及・啓発活動を展開した個人・団体に贈られる「かながわレッドリボン賞」を受賞しています。今回が2回目の助成です。

## 情報フォーラム・映像ライブラリーがリニューアルしました!!

3月20日から休館しておりましたあーすの情報フォーラム・映像ライブラリーが改装工事を終え、4月15日にリニューアルオープンいたしました。

次のような施設となりましたので、今後も是非ご利用下さい。

詳しい利用の案内につきましては、045-896-2976(直通)へお問い合わせ下さい。

### 情報フォーラム

人と人の交流の場へ

国際協力・国際交流等のセミナー、打合せ、勉強会、ミニフォーラムやミニ展示会などの小規模のイベントなどで使いやすい場所となりました。

国際協力・NGO情報の宝庫

- ・550タイトルを超える新聞・雑誌・ニュースレターなどの閲覧ができます。
- ・100種類以上のイベント・プログラムを紹介するチラシ・ポスター等があります。
- ・様々な調べものをする場として、NGO活動などの情報提供や相談サービスを受ける場としてご利用いただけます。

フォーラムスペース

フォーラムスペースには24名、16名、12名用のミーティングスペースがあります。

可動式の間仕切りを利用しており、40~50名規模でのご利用も可能です。

フリースペース

フリースペースには、4人掛けのテーブルが3セットのほか作業台などもあり、グループや個人で自由にご利用いただけます。

便利さ、使いやすさ

1枚10円でA3サイズまでのコピーができ、飲食もできるようになりました。

### 映像ライブラリー

情報フォーラムにあった図書を映像ライブラリーに移動し、ひとつのカウンターでビデオ視聴申込と図書の貸出をできるようにいたしました。静かな空間でビデオや図書をご利用ください。なお、ビデオ視聴受付を15分延長し、4時45分までといたしました。



	開館時間		休館日
情報フォーラム	火~金曜日	9:00~20:00	月曜日(月曜日が祝日の場合は開館)
	土・日曜日、祝日	9:00~17:00	
映像ライブラリー	9:00~17:00(図書の貸出・登録及びビデオの視聴受付 9:15~16:45)		年末年始(12月29日~1月3日)

## あーすフェスタかながわ2001

「多文化共生」をテーマに、ともに考え、ともに楽しむイベントを開催します。

と き：5月11日(金) 12日(土) 13日(日)

と ころ：あーす、リリス、自治総合研究センター(JR本郷台駅すぐ)  
県立柏陽高校グラウンド(「あーす」から徒歩3分)

### 主なプログラム

基調講演会(12日11:30~12:45 テーマ「多文化共生と子どもの未来」)

講師：大鶴義丹氏(作家・俳優)\*要事前申込)

シンポジウム(12日13:30~15:30 テーマ「みんなで語ろう!多文化子育ての夢・悩み」)

映画祭(12~13日 アジア映画を中心に映画賞受賞作品等を上映)

ジュニアレポーターズ取材発表(13日12:30~14:30 子どもたちが外国籍住民の生活や文化を取材し、その結果を発表します。)

そのほかに民族衣装のファッションショー、民族芸能ステージ、ワールドバザール・世界屋台村、インドシナ難民定住者日本語スピーチコンテスト、多文化共生スタンプラリー、外国籍県民スポーツ大会、楽器で感じるあーす2001など多彩なプログラムが予定されています。詳しくは、あーすフェスタかながわ2001実行委員会事務局(県国際課内)TEL:045-210-3748へ

## 神奈川県国際交流協会(KIA)は

地球のすべての人が、国境や人種、文化の違いを越えて、人間らしく暮らせる社会の実現のため、人と人とのつながりを大切にした「国際交流」「国際協力」を推進するさまざまな事業を展開しています。

### あなたも会員になりませんか?

協会の活動を支える会員を募集しています。

会員になると

協会が主催する各種催しや国際交流団体、NGOの催し情報、ボランティア情報を掲載した『Hello Friends』『サラダボウル』をお送りします。

会員の方を対象にした催しへご招待します。

『エスニック・レストラン・マップ』をお送りします。

会員証の提示で、提携エスニック・レストランの優待サービスが受けられます。

年会費：個人 3,000円から  
団体 10,000円から

\*会員になりたい方は、協会までお問い合わせください。振込用紙など関係資料をお送りします。

協会が運営するあーす内の施設の利用時間は下記のとおりです。

情報フォーラム 9:00~20:00  
(土曜・日曜日・祝日 9:00~17:00)  
映像ライブラリー 9:00~17:00

\*月曜日は休館日です。  
(ただし、祝日は開館しています。)



このほか、神奈川県国際研修センターと神奈川県国際学生会館を運営しています。

各事業に関するお問い合わせは、  
(財)神奈川県国際交流協会  
(045-896-2626)までどうぞ。

お詫びと訂正  
「エスニック・レストラン・マップ2001」を会員以外の方にお付けする場合、80円切手を貼った返信用封筒を当協会へお送りいただくよう3月号で掲載いたしました。90円切手の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

# Hello friends

2001年5月1日発行  
第220号

発行 財団法人 神奈川県国際交流協会  
〒247-0007  
横浜市栄区小菅ケ谷一丁目2番1号  
神奈川県立地球市民かながわプラザ1階  
045-896-2626 FAX.045-896-2945  
URL: http://www.k-i-a.or.jp  
E-mail: hello@k-i-a.or.jp  
印刷 株式会社 佐藤印刷所

キ  
ラ  
バ  
ン  
・  
サ  
ラ  
イ

行政とNPOのパートナーシップ論が盛んになるにつれ、これまで自治体が直接担っていた社会サービスも、NPOへ委託する流れが加速し始めています。公共事業のNPOへのアウトソーシングは、サービス受給者の生活向上に即した柔軟な事業展開と、コスト削減による「行革」効果への期待から、NPOと自治体双方の関係者から歓迎される傾向にある。

確かに、事業分野によっては、情報とノウハウを持ったNPOへ事業委託をする可能性は高いと思う。だが、公共事業の外部委託に伴う負の作用についても、同時に目配りしておく必要があるのではないか。

今年3月に訪れたシドニーのECC( Ethnic Communities Council)というNPOのスタッフから、こんな話を聞く機会があった。「政府から委託事業を受けようとする複数のNPOの間で競争が加熱し、NPOで働くスタッフの労働条件が劣悪になった。」

このように、委託事業獲得をめぐる過当競争によって、NPOとしての営利追求・指向が強まり、NPOとしての大切な志を失うという事例は、アメリカではそれほど珍しくないという。日本でも、「組織の使命の実現と、団体存続のための経済合理性の追求」とのジレンマに悩むNPOが、これから増えることになりそうだ。

組織の自律(自立)性を失わずに、いかに事業展開に必要な財源を確保するか。世界のNPOが直面しているこの「問い」は、私たち財団職員にとっても、決して他人事ではない。

(企画情報課長 小山紳一郎)